

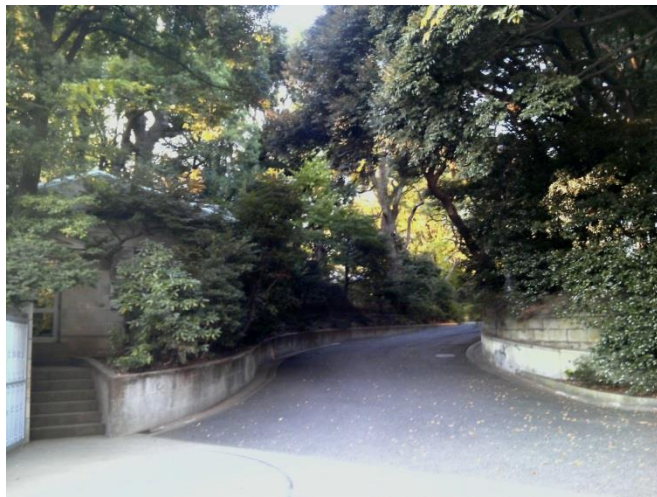
港区を歩く⑥ 港区の南端

今回は、港区の南端を歩きました。地図で見る限りでは、最南端は高輪4丁目にある三菱・開東閣の南西端、次南端は港南2丁目の天王洲橋の東詰と思われます。

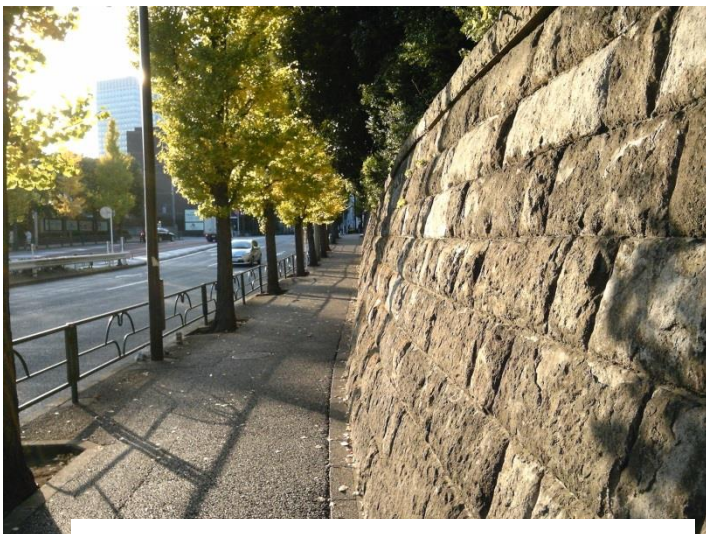
最南端の開東閣は、旧岩崎家高輪別邸で、広さは11,200坪とのこと。非公開で、現在は三菱グループの倶楽部となっています。



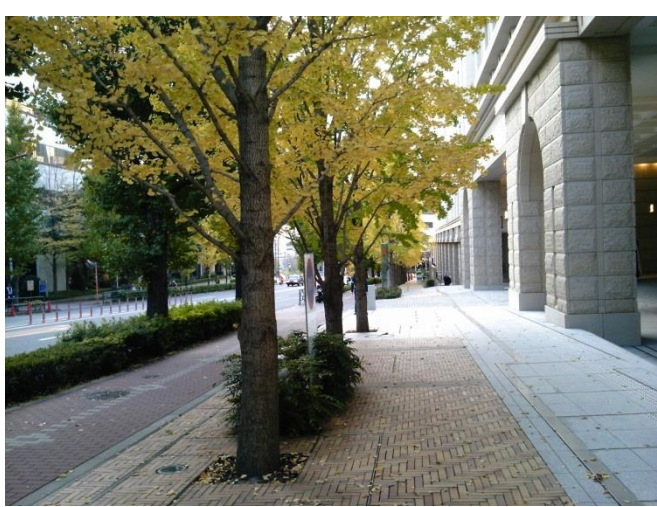
A 石垣を巡らした土地が開東閣。前方の角が港区の最南端と思われる。



B 開東閣の入口。樹木が鬱蒼として内部は見通せない。



C 石垣が結構、歩道に圧迫感を与える。



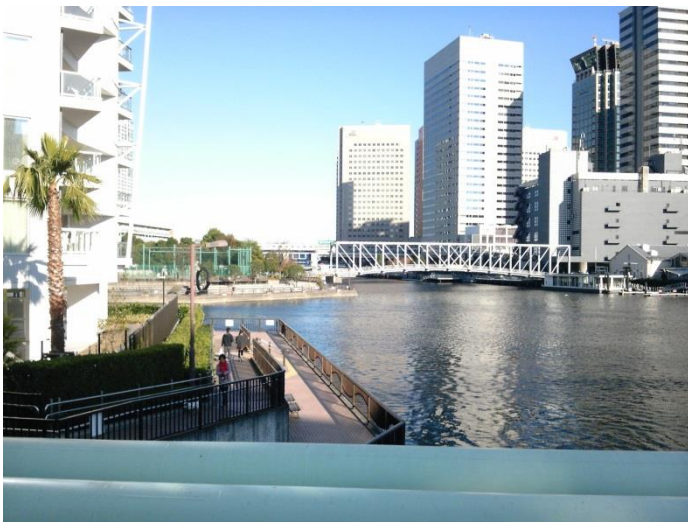
D 開東閣から西側に続く歩道。建物がセットバックしているの歩きやすい。 1

港区を歩く⑤ 港区の南端

次南端の天王洲橋周辺は、運河に囲まれた開放的なエリアでした。

運河沿いに遊歩道が設置され、ここで憩う人々が多く見られます。海を見て、のんびりするのには絶好のロケーションです。

また、品川地区と天王洲地区を結ぶ最短ルートになっているためか、会社員を含めた通行者が結構目立ちました。



E 手前のデッキ部分が次南端と思われる。向こうは天王洲アイルー帯のビル群。



F 運河に臨む親水テラス。こうした遊歩道が運河沿いに続く。



G 天王洲ふれあい橋上から見た次南端エリア。



H 港区が散策コースを設定している。

港区を歩く⑥ 港区の南端

次南端エリア近くにある東八ツ山公園は、公園の中を港区と品川区の区境線が通っていました。
このため、公園には、港区立、品川区立の両方の表示がありました。

また、運河沿いには船宿が数軒見られます。

天王洲からこのあたりにかけては、ドラマのロケ地としてよく使われるようです。

撮影日：2014年11月18日



I, J 同じ公園が港区立、品川区立の両方になっています。



K 東八ツ山公園の全景。南東方向を見ている。



L 運河沿いには船宿があります。ここからは屋形船がでるようです。